

チューリップ新品種の発表

- 県が育成したチューリップの新品種が
来月から予約販売開始の見通し

- 品種名は「^{むらさき}ひかる紫」



新品種の命名理由

- 「^{むらさき}ひかる紫」
- ・紫色の花が日の光を受けて光り輝いている姿をイメージ



新品種「ひかる紫」の特徴

- 草丈が短く茎や葉が強い
- 観賞期間が長く花壇植えに適する
- 促成(ハウス)栽培で1～3月に出荷でき切り花に適する
- 球根の収量性に優れる



これまでの経過①

- 県農林水産総合技術センター園芸研究所が育成
 - ① 平成11年交配、平成16年初開花
 - ② その後、選抜と検定試験を繰り返し、球根を増殖
- 品種名は、関係者から応募のあった候補(102点)から、「チューリップ新品種命名検討委員会」(令和6年2月)が選考

これまでの経過②

- 令和6年5月に国に品種登録を出願
- 県育成としては44番目の品種
- 令和5年から県内生産者のほ場で球根を増殖
- 球根の数が販売ロット以上となる目途が立ったことから、予約販売の開始に先立ち、今回発表

今後の予定

- **令和8年4月22日～5月5日**
となみチューリップフェア2026の会場内で
 - ① **花を展示**
 - ② **県花卉球根農協が球根の予約販売を受付**
(6月に球根を収穫し、秋以降に発送・販売予定)
- **他の県育成品種とともに、2027年国際園芸博覧会**
に出品(予定) **(農産食品課・農業技術課)**